

平成30年度全国学力・学習状況調査結果

豊能町教育委員会

はじめに

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証するとともに、学校における教育活動の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的に、平成19年度より実施されています。

今年度は、平成30年4月17日(火)に悉皆調査として実施され、本町は、全小学6年生(4校119名)、全中学3年生(2校127名)が参加しました。

調査内容は、教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)、生活習慣や学習環境等に関する調査が実施され、教科に関する調査は、主として「知識」に関する問題(A区分)と「活用」に関する問題(B区分)に分けて行われました。

また、3年ごとに行われる理科については、主として「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問う形式で行われました。(こちらは平成24年度当初から知識と活用が一体で出題されています。)

【1】全体概要



小学校・中学校ともに、各教科どちらの区分において、全国および府平均正答率を上回る結果となりました。

※ただし、本調査において測定できる学力は、特定の一部です。

〔小学校〕 各教科区分の平均正答率 (%)

区 分	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
	知識	活用	知識	活用	知識 活用
豊能町 平均	72.0	58.0	70.0	58.0	64.0
大阪府 平均	68.0	52.0	63.0	51.0	57.0
全 国 平均	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
問題数	12問	8問	14問	10問	16問

〔中学校〕 各教科区分の平均正答率 (%)

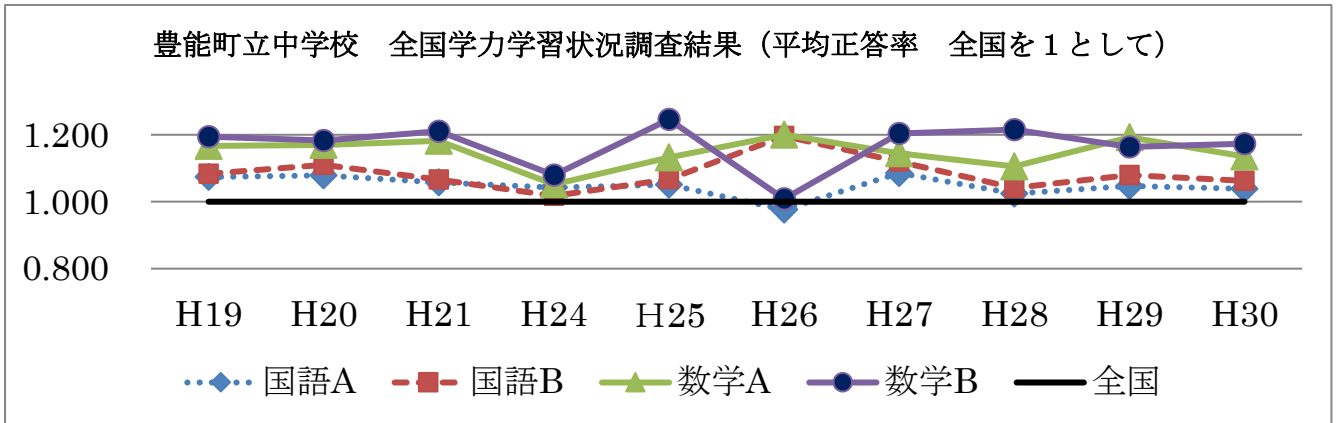
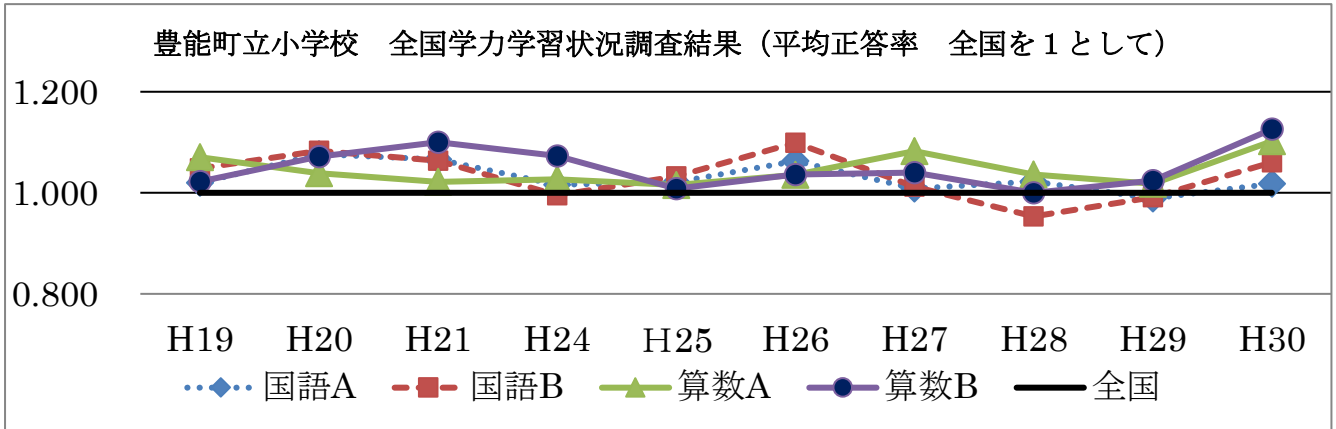
区 分	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
	知識	活用	知識	活用	知識 活用
豊能町 平均	79.0	65.0	75.0	55.0	71.0
大阪府 平均	75.0	59.0	65.0	46.0	64.0
全 国 平均	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1
問題数	32問	9問	36問	14問	27問

次ページの折れ線グラフは、全国の平均正答率を1としたときの本町の各教科の平均正答率の平成19年から10回分の推移です。

年によって多少上下はありますが、全国を1として、小学校で-0.05~+0.1、中学校では-0.02~+0.25の間で動いています。今年度は、小学校の算数A区分とB区分の平均正答率が全国の平均正答率より6.5ポイント上回り、中学校の数学A区分とB区分の平均正答率が全国の平均正答率より約8ポイント上回り、高い正答率となっています。

<H19年度からの平均正答率の経年変化を表すグラフ>

*平成22年度は抽出調査のためデータがありません。平成23年度は震災のため中止となりました。



昨年度と比較すると、小学校では国語・算数ともに上昇傾向にありますが、国語A（「知識」に関する問題）の日常生活で使われている慣用句の意味を理解することや学年別配当表に示されている漢字を正しく使うことに課題が見られました。

また、国語B（「活用」に関する問題）の目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかくことに課題が見られました。

中学校では、昨年度に比べ、国語のA区分、B区分ともに少し下回っていました。A区分では、文脈に即して漢字を正しく書くことや相手や場面に応じて適切に敬語を使うことに課題が見られました。また、B区分では、質問の意図を捉えることや、話の展開に注意して質問することは概ねできていましたが、全体と部分との関係に注意して相手の反応を踏まえながら話すことに課題が見られました。

また、数学のA区分について、昨年度より3.5ポイント下回っていましたが、B区分について0.2ポイント上回っていました。

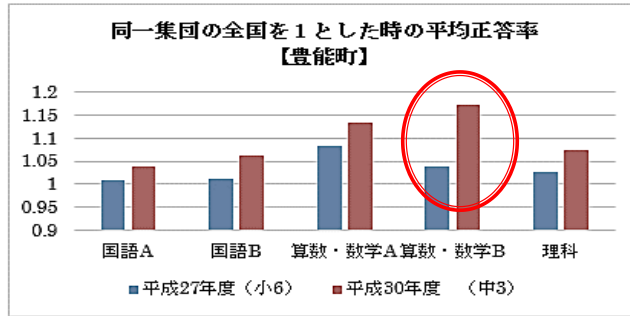
【2】成果と課題



同一集団で比較すると小学校から中学校での3年間で学力の向上が特に数学で見られます。しかし、関心・意欲や思考力・判断力・表現力など見えない学力をどのようにつけていくかが課題です。

3年前小学校6年生であった集団と今年度中学校3年生（同一集団）の平均正答率を比べてみました

本町では、同一集団の平均正答率が小学校から中学校にかけて特に数学で大きく伸びていることがわかります。小学校で身につけた基礎基本の力を中学校でさらに伸ばすことができていると考えられます。



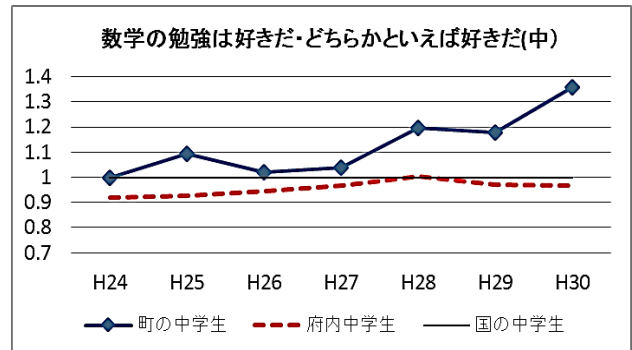
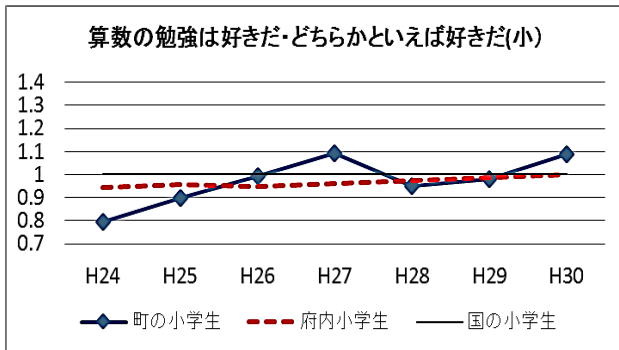
すべての分類で上がっています。

- ・国語 A +0.03 ポイント
- ・国語 B +0.05 ポイント
- ・数学 A +0.05 ポイント
- ・数学 B +0.13 ポイント
- ・理 科 +0.04 ポイント

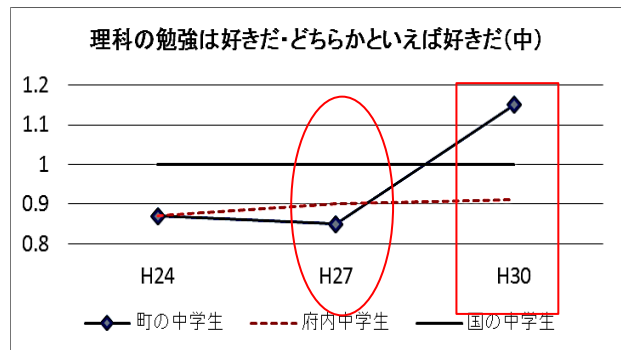
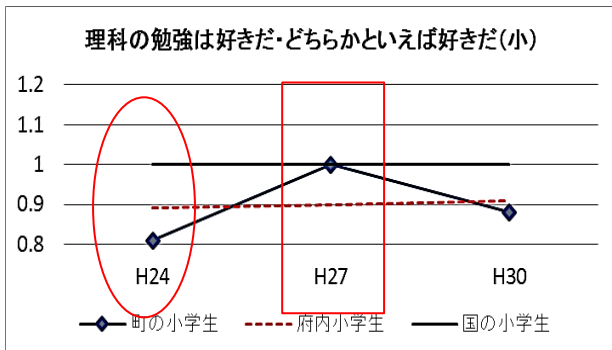
*平成 30 年度の調査問題は以下の文部科学省のホームページに掲載されています。
 国立教育政策研究所 <http://www.nier.go.jp/18chousa/18chousa.htm>

【3】児童生徒質問紙より

*本年度については、質問数が大幅に削減され、国語に関する質問項目については実施されませんでした。
 *児童生徒質問紙の結果から教科の勉強に対する姿勢や興味・関心との関係が見えてきます。



「算数・数学の勉強は好きですか」の質問に対して全国を1とした場合の最近7年間の豊能町と大阪府の経年変化グラフの波形をみると、本町は肯定的な回答が増加傾向にあります。今年度の中学生の回答を小学生時と比較すると、昨年度に引き続き、1.0から1.4まで上昇し、興味・関心の高まりと平均正答率の向上が比例関係にあります。



理科については、過去2回の調査結果の結果を基に経年変化グラフをみると、平成24年度の小学6年生が0.82から平成27年度の中学3年生で0.84とわずかに上昇し、また平成27年度の小学6年生は1.0から平成30年度の中学3年生で1.15と上昇しました。

- ★ は、小学校・中学校で、全国と比較して、肯定的な回答のポイントが高かった（3ポイント以上）設問
 ◆ は、小学校・中学校で、全国と比較して、肯定的な回答のポイントが低かった設問

【生活習慣】

- ◆全体として、望ましい生活習慣が定着していると考えられますが、一定の時刻に起床している児童の割合が全国を少し下回っています。

生活習慣については、学校と各家庭と地域との連携を図ることで、基本的な生活習慣の大切さについての意識が高まるとともに、学習意欲や体力の向上につながると考えます。
子どもたちの健やかな成長のために、学校教育活動全般と関連付けながら進める必要があります。

質問事項	小学校6年生		中学校3年生	
	豊能町	全国比	豊能町	全国比
朝食を毎日食べていますか。	95.8 (83.2)	+1.3 (-1.6)	94.5 (78.0)	+2.6 (-1.7)
◆毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	86.6 (58.0)	-2.2 (-1.9)	90.6 (59.1)	+0.3 (+3.2)
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	79.0 (38.7)	+2.0 (-2.7)	76.4 (39.4)	+2.2 (+3.8)

※数値は「している」「どちらかといえば、している」等、肯定的な回答の割合% ()内の数値は、肯定的な回答のうち「している」等と回答した割合%

【学習習慣】

- ☆小中学生ともに「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答している割合が国より上回っています。
 ☆平日・休日にかかわらず、家庭学習に主体的に取り組む小・中学生の割合が国より少し上回っています。
 ◆家で、学校の授業の予習・復習をしている児童の割合は、国より少し下回っています。

質問事項	小学校6年生		中学校3年生	
	豊能町	全国比	豊能町	全国比
家で、学校の宿題をしていますか。	99.7 (95.0)	+2.6 (+7.1)	96.1 (70.1)	+4.5 (+1.6)
★家で、自分で計画を立てて勉強していますか。	73.1 (33.6)	+5.5 (+2.9)	63.0 (22.8)	+10.9 (+6.2)
◆[新規]家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。	58.8 (22.7)	-3.8 (-5.0)	78.0 (27.6)	+22.8 (+9.4)
★放課後に何をして過ごすことが多いですか。 (家で勉強や読書をしている)	71.4	+7.3	57.5	+15.3
★[新規]週末に何をして過ごすことが多いですか。 (家で勉強や読書をしている)	66.4	+8.3	48.0	+7.0

※数値は「している」「どちらかといえば、している」等、肯定的な回答の割合% ()内の数値は、肯定的な回答のうち「している」等と回答した割合%

【豊かな人間性等】

- ◆中学校の「自分には、よいところがある」と回答した生徒の割合は、全国をやや上回っていますが、小学校では少し下回っています。

児童の自尊感情や自己有用感がやや低く、個に応じた指導や相談の取組、また、自尊感情や自己有用感を高める取組を進める必要があります。ほとんどの小中学生が人の役に立つ人間になりたいと思っており、全国をやや上回っています。

☆「将来の夢や希望を持っている」と回答した児童生徒の割合は、全国を上回っています。

引き続き、成功体験を積み重ね、自分の将来の夢や目標をもつことの大切さを指導する必要があります。

☆小中学生ともに地域の行事への参加は良好であり、さらに「授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があった」と回答した割合も高く、全国を上回っています。

◆地域や社会の事象への関心やそれらに関わろうとする意欲に課題が見られます。

今後も、学校と家庭と地域が連携、協力し、ふるさとを大切に、誇りに思う子どもたちの育成に努めていきます。

質 問 事 項	小学校6年生		中学校3年生	
	豊能町	全国比	豊能町	全国比
◆ <u>自分には、よいところがあると思いますか。</u>	80.7 (34.5)	-3.3 (-6.7)	83.5 (37.0)	+4.7 (+3.3)
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	97.4 (79.8)	+2.2 (+5.6)	95.2 (73.2)	+0.3 (+2.5)
★ 将来の夢や目標を持っていますか。	89.0 (73.9)	+3.9 (+5.7)	78.7 (40.9)	+6.3 (-4.4)
★ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。	74.0 (42.9)	+11.3 (+7.0)	59.0 (22.0)	+13.4 (+3.4)
◆ <u>地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。</u>	68.9 (24.4)	+5.1 (-2.4)	59.0 (17.3)	-0.3 (-2.7)
◆ <u>地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか。</u>	46.2 (18.5)	-3.7 (+1.2)	44.1 (11.8)	+5.4 (+1.2)
◆ <u>地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか。</u>	54.6 (41.2)	-8.0 (+5.1)	68.5 (45.7)	-5.1 (-6.1)

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合(%) ()内の数値は、肯定的な回答のうち「当てはまる」等と回答した割合(%)

【授業等の教育活動】

☆小中学校ともに「前学年までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合が、全国の割合を上回っています。

☆「前学年までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫していた」と回答した児童生徒の割合は、全国を上回っています。

☆「友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」と回答した児童生徒の割合は、全国を上回っています。

◆算数・数学及び理科の授業において、「授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童生徒の割合は、小学校は全国を下回っていますが、中学校は全国を上回っています。

◆算数・数学の授業では公式等の根拠を明らかにしたり、理科の授業では自分の予想を基に観察や実験の計画を立て、結果を基に考察したりするなど、児童が思考・判断・表現する意識をもって学習に取り組むことに課題が見られます。

☆小中学校において、地域のことを調べたり、地域の人と関わったりして学ぶ場が設定されています。

質 問 事 項	小学校6年生		中学校3年生	
	豊能町	全国比	豊能町	全国比
★ [新規] 5年生 [1、2年生のとき] に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。	85.8 (34.5)	+9.1 (+5.4)	85.0 (35.4)	+11.2 (+9.1)
★ 5年生 [1、2年生のとき] に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか。	65.2 (21.0)	+4.2 (-2.5)	67.7 (22.0)	+13.9 (+5.4)

★友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	86.6 (42.9)	+8.9 (+8.2)	85.1 (40.2)	+8.8 (+7.8)
◆算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	60.5 (27.7)	-3.9 (-0.8)	55.9 (18.1)	+17.2 (+6.1)
★算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠(わけ)を理解するようにしていますか。	89.1 (50.4)	+8.7 (+6.7)	84.2 (43.3)	+13.8 (+12.4)
◆理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。	55.5 (24.4)	-9.2 (-6.7)	60.6 (23.6)	+15.2 (+6.8)
◆理科の授業では、自分の予想を基に観察や実験の計画を立てていますか。	74.8 (31.9)	-0.4 (-5.3)	74.0 (26.0)	+15.5 (+6.6)
理科の授業で、観察や実験の結果を基に考察していますか。	83.2 (46.2)	+1.4 (+2.6)	83.5 (44.1)	+11.2 (+12.4)
◆理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。	64.7 (27.7)	-3.4 (-1.7)	67.7 (23.6)	+8.7 (+2.9)
★前学年までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。	86.6 (58.0)	+12.2 (+17.9)	78.0 (33.9)	+9.3 (+2.3)

※数値は「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」等、肯定的な回答の割合(%) ()内の数値は、肯定的な回答のうち「当てはまる」等と回答した割合(%)

～ 児童生徒質問紙・豊能町学力向上プラン評価指針項目より ～

「授業づくり」「学習習慣」「学習規律」の3つの項目について、関連する質問を挙げてみました。これからこの3つの項目について「学校、保護者、地域」で協働してさらに伸ばしていきたいと考えています。



*今年度は各項目において、全国を1としたときの町と府の4年間あるいは6年間の経年変化も載せています。

ポイント UP ～特に改善が見られた項目～	ポイント DOWN ～より努力が必要な項目～
(小学校) 自分で計画を立てて勉強・学校のきまり(規則)を守る	(小学校) 1日あたりの勉強時間(1時間以上)
(中学校) 自分で計画を立てて勉強	(中学校) 学校のきまり(規則)を守る

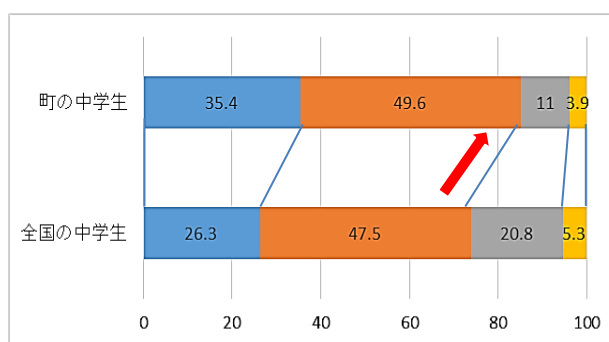
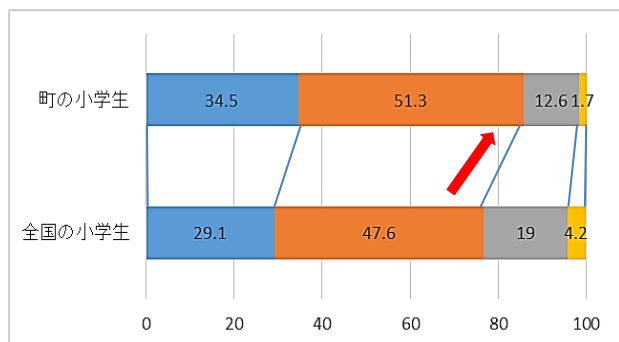
(授業づくりにかかわる項目)

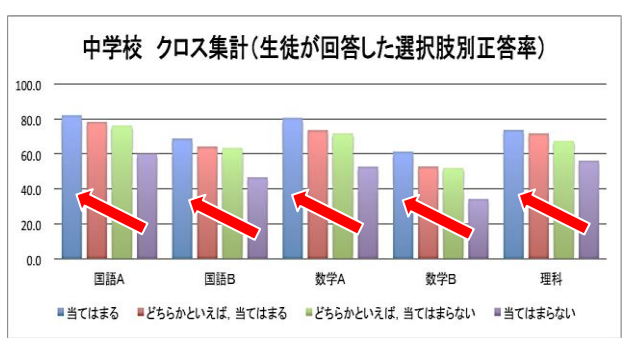
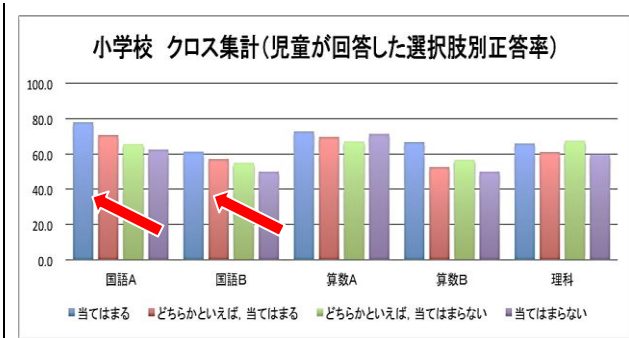
～「主体的・対話的で深い学び」の現状～

【主体的な学び】

■ 課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。

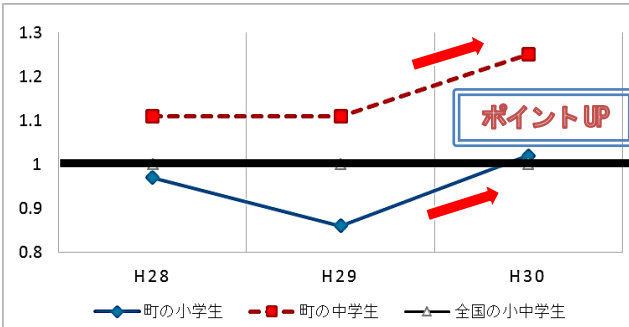
■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる当てはまらない ■ 当てはまらない





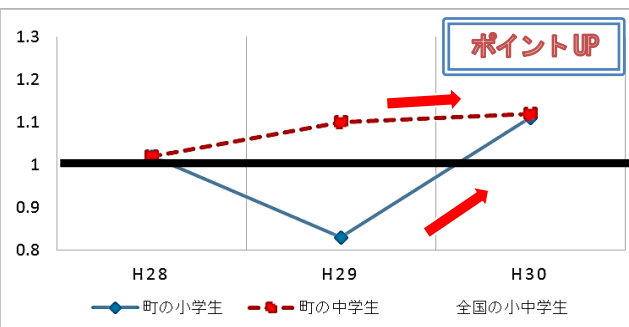
【対話的な学び】

■ 5年生〔1、2年生のとき〕に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。



【深い学び】

■ 児童(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。



○小・中ともに授業改善進む

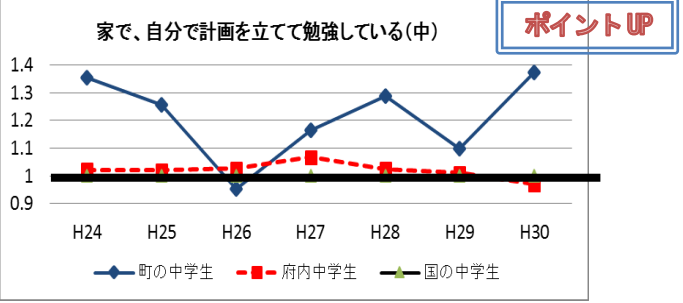
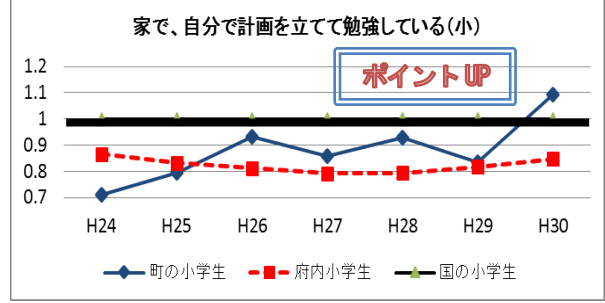
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思うか」など、上記3つの設問で肯定的に回答した児童・生徒は国を上回っており、各学校における授業改善が進んでいることがうかがえます。

平成30年度全国学力・学習状況調査に関する文部科学省の分析にも、これらの設問に肯定的に回答した児童・生徒の教科の平均正答率は高い傾向が見られるとあります。

今後も引き続き、基礎的・基本的な知識及び技能の習得とそれらを活用した思考力・判断力・表現力等の育成のバランス意識しながら、児童・生徒が自分なりの考えを持ち、お互いの考えを交流することを通して、物事の見方・考え方を広げたり、深めたりする「主体的・対話的で深い学び」の充実を進めていきます。

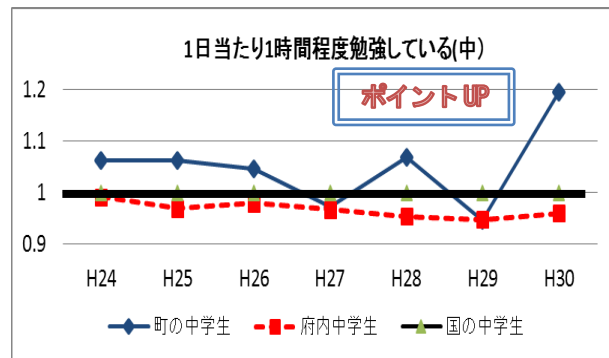
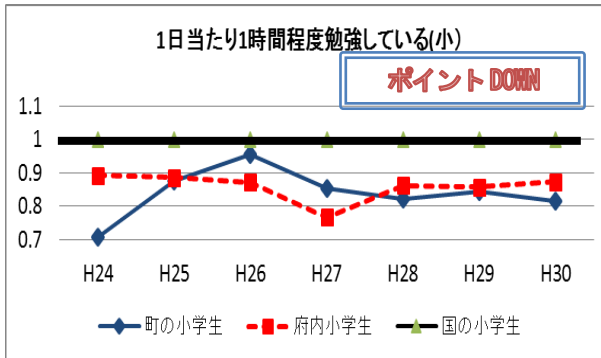
(学習習慣にかかわる項目)

○家で、自分で計画を立てて勉強していますか



この項目については、毎年変動はあるものの、小学校、中学校ともに昨年度に比べて、ポイントが上回りました。家で学習(宿題等)はしているが、自分で計画を立てて勉強をしたり、弱点を補充するような勉強をしたりするところまでは至っていないのではないかと推察されます。学校・保護者や地域の皆様と協働して、自分で計画を立てて勉強する活動をさらに推進していきたいと考えています。

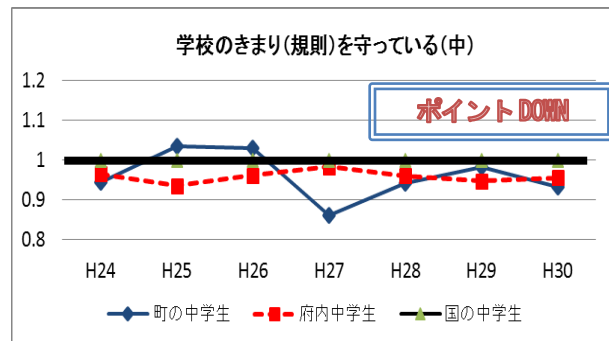
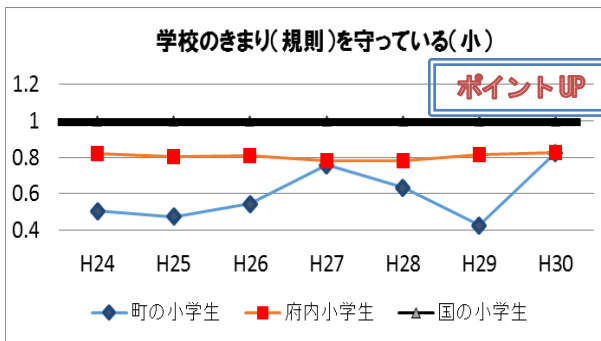
○学校の授業時間以外に普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）



学校以外に1日当たりどれくらい勉強しているかを聞いており、表には1時間以上勉強している子どもの推移を載せています。そのほかの時間帯も同じような傾向で、全体的に学習時間が横ばい状態の傾向があります。ただ、これも学年によって、多少上下する傾向がありますので、学校、保護者、地域の皆様と協働して取り組む必要があります。

(学習規律にかかわる項目)

○学校のきまり(規則)を守っていますか



この項目については、小学校・中学校ともに全国平均を下回っています。単に規範意識が育っていないと捉えるのではなく、子どもたちがきまりについてどうとらえているのかについて着目し、町全体で取り組んでいく必要があると考えています。

【4】課題克服のための今後の取り組み 【豊能町学力向上プランより】

豊能町 学力向上プラン（2年次）の基本方針を推進していきます

危機感を持って、学力向上に取り組む

1. 授業力の向上（新学習指導要領を見据えた授業改善・授業力向上）
2. 全校的・組織的な学力向上の推進
3. 新教育課程・ICTの活用研究
4. 学習習慣・学習規律の育成

計画的・組織的・継続的

重点的な取り組み

- 指導方法の工夫改善
- 学力向上指導員の配置
- 地域の学習資源を生かした授業づくり
- 家庭教育との連携
- 言語活動の充実
- ICTを活用した授業研究
- まなび舎事業の拡充

「学力が確実に伸びてきている 豊能町！」

